



R4. 3. 1発行

日に日に厳しい寒さも和らぎ、少しずつ春の陽気を感じられるようになりました。

さて、りす組で過ごすことも残り1か月。入園、進級当初は泣きながら登園し、部屋に入ってもお母さんやお父さんを探していた子どもたちも、今ではお友だちや保育者と一緒に遊ぶ姿が見られるようになりました。また、歩くことがまならなかった子どもたちが友だちと手を繋いで散歩ができるようになりました。この1年間でたくさんの成長を見せてくれた子どもたち。保護者の皆様には1年間ご協力を頂きましてありがとうございました。

1歳児りす組の年間目標は「自分でやってみようとする力を育てる」です。4月は保育者が身の回りのことを行っていました。今ではリュックから連絡帳やコップを出したり、衣服やオムツの着脱を自分で行おうとしたり、何事にも「自分で」とやってみようとする姿が見られるようになり、少しの援助も嫌がる姿が増えてきました。

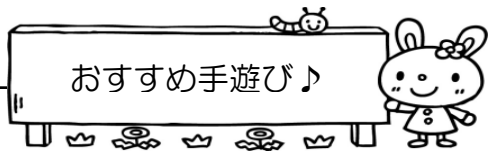
園だけでなく、家庭でも同じような姿が見られるのではないのでしょうか。2歳前後から見られる「イヤイヤ期」はよく耳にする言葉だと思いますが、ほぼ同時期にやってくると言われていたのがなんでも自分でやりたがる「やるやる期」です。この時期のイヤイヤは親の力を借りずに自分でやりたいという自立心の表れの為、ちょうどイヤイヤ期と同じ時期に何でも自分でやりたがるやるやる期が始まると言われています。お母さんとの一体感「母子一体感」が強い時期を経て、子どもは自律性が強くなると人に制御されずに自分が決めたルールで行動したいという気持ちが強くなります。また、生まれた時から親から守られて育つことで失敗や挫折を経験したことがない為、自我の芽生える時期に「自分は何でもできる」という幼児的万能感を持ち始めるようになります。その為、親の手を借りずに自分で何でもやってみようという感情が強くなって、できないことも「できる!」「やりたい!」となるのです。保護者の方は忙しい時に「自分で」と何でもやりたがる子どもに時間がかかりイライラしてしまうこともあるかと思いますが、これは1つの大切な成長過程です。自分で出来ると自信にも繋がります。ぜひ時間がある際は見守ってあげ、出来た際はたくさん褒めてあげてください!



<今月のねらい>・身の回りのことを自分でする。・保育者や友だちとやりとりをして遊ぶ。

<今月の活動>散歩(園周辺や近くの公園に行きます)、指先遊び(のり貼り、粘土、キネティックサンド)

設定遊び(巧技台、マット、はしご)、集団遊び(しっぽ取り、むっくりくまさん等)



～おやつを食べよう～

おやつを食べよう食べよう おやつが大好き大好き  
いちごゴーゴー みかんんっんっ ケーキキッキキ  
ヨーグルトトー パイナップルプルプル  
ちくわわっ せんべいべー さくらんぼぼー  
とうもろこしー

子どもたちが大好きな手遊びです!歌がなくても  
食べ物を伝えるとノリノリでやっています!

